

子ども夢フォーラム

News!

NPO(非営利任意団体)
2018.1.15 (No.105)

【隔月発行】発行責任者：高木眞理子

2018

新たな年、皆様はどのように迎えられましたか
本年もどうぞよろしくお願ひいたします。



迎春

1月10日ごろから寒波が日本海側を覆い、金沢でも近年にない大雪に見舞われました。雪かき、本当に疲れました。駐車場から道路までの動線を足跡のない雪をかきわけ少しずつ少しずつ道をつくることにたっぷり汗をかきました。体脂肪減少に少しは貢献できたなら幸甚^^。脇道に入った途端、硬くツルツルになった雪が畝のようになっていて、ガタガタゴトゴト揺られ、向こうに見える幹線道路までの遠いこと。積み上げられた雪のため、車線が狭くなり、あちこちで渋滞です。どうかはまりませんように、それまで対向車線がきませんように・・・おっと、タイヤが雪で空回りしているトラックが道を塞いでいます。待つしかありません(-_-) 雪が降らなければ起きなかった事故、溶けてしまえば恨めしい!



～講演会のご案内～

「子どもの権利と
子どもにやさしいまちづくり」

講師：荒牧 重人 氏
(山梨学院大学教授、子どもの権利条約総合研究所副代表)

日時：2018年3月3日(土)
13:30～15:30
場所：いしかわ子ども交流センター大研修室
参加費：500円
定員：80名

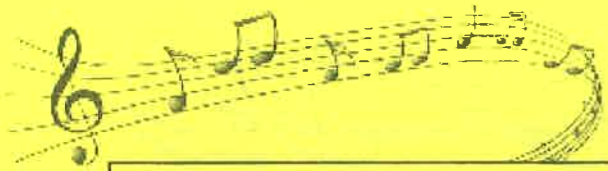
主催／子ども夢フォーラム
金沢市児童虐待防止活動推進事業

2017年度の子どもの夢フォーラム最後の事業です。
“子どもの権利”という視点から、子どもが安心して暮らせるまちづくりを考える機会になれば、企画しました。
親や子どもとの関わりに、ぜひ活かしてください^^。



お申込みはお早めに
おねがいます^^!

「子どもの権利条約」のこと、知っているようで意外と知らなかったりうまく説明できなかったりってありませんか。よくご存じの方も繰り返し学んでさらに理解を深めていただければと思います。
みなさまのご参加をお待ちしています。



ステキな映画に
出会いませんか？

富山—金沢—東京で繰り広げられる娘と母の物語。母と三姉妹、家族再生の物語



主催：金沢市
女性と子ども支援ネットワーク金沢

～映画「カノン」上映会のご案内～

上映日：2018年1月25日（木）
上映時間：①10時半～12時35分
②13時半～15時35分
会場：いしかわ子ども交流センター
大研修室
参加費：500円
（事前申込み不要）

富山—金沢—東京で繰り広げられる娘と母の物語。それぞれの胸の奥にしまいこまれていた願いが一本の糸に……
2016年10月に劇場公開されたのでご覧になった方も多と思います。

～見逃された方は、ぜひこの機会に！～

音楽関係者にも関心の高い作品です。
作品にながれる“カノン”もぜひご堪能ください！



～第13回全国若者・ひきこもり共同実践交流会 in とやま～

2017年12月9日（土）10日（日）
会場：富山大学五福キャンパス

富山が会場だったこともあり、この実践交流会に初めて参加することができました。富山駅南口の市内電車乗り場にプラカードをもった若者がいてくださったので、乗る電車を間違えずに会場に向かうことができました。市電に揺られること15分。降りるとき、富山大学口が終点だったこと知りました。そうと知っていたら、乗り過ぎないように緊張していることもなかったのに（笑）市電を降りて皆さんが向かう方について歩くこと5分。富山大学五福キャンパスに到着！会場の入り口で知っている方に出会ってホッとしました。

一日目のシンポジウムは、富山や愛知の活動から話が展開していきました。その後、分科会会場へ移動。住まいや働くなど9つのテーマがあり、内容の濃い二日間でした。

つづく →

高木は、第7分科会「現場実践から考える多様な学びへの支援」に参加しました。そこでは以下のタイトルでそれぞれレポートがありました。

- ①「学校でできること 学校だからできること」
- ②「雄峰高校のキャリア教育について」
- ③「困難を抱えた大学生への支援」
- ④「富山 YMCA フリースクール」
- ⑤「フリースクール・居場所の役割」



特に③の「困難を抱えた大学生への支援」の報告では、富山大学アクセシビリティ・コミュニケーション支援室の実践について詳しく知ることができました。対人不安を訴えて保健管理センターに来所する学生の中に、発達障害の凸凹を根底に抱えていると思われるケースが多くあると感じていた背景があり、文科省の学生支援 GP（2007～2009）に、発達障害のある学生を中核とした包括的支援の取り組みが採択され、学生支援センター内にトータルコミュニケーション支援室を設置したことが契機となったこと。その後、2009年からすべての障害学生を支援対象としてアクセシビリティ・コミュニケーション支援室に改組。さまざまな障害学生の就学上のつまずきに対し、学部等と連携し、組織的かつ継続的に支援をおこなっているという。全国的に障害者差別解消法からこうした動きが立ち上がる中、富山大学はボトムアップで立ち上がった独立性の高い性格が大きいこと。自身の特性に自覚がなく、青年期年齢である学生にどのようなアセスメントが有効か？などいくつか課題はあるものの、困難さや偏りのある学生からの申し出がなくても支援の対象にしていること。医学的診断の有無にかかわらず対人関係やコミュニケーションに関わる困りごとを支援の出発点にしていること。これらの報告に「すごいなあ～」と思いました。

支援に関わる基本理念
～発達障害学生支援におけるミッション～

1. 「発達障害のある大学生が、大学や社会の財産として広く認知され、彼らの持つ豊かな才能が社会全体の発展に寄与する」というビジョンを共有する。
2. 本人およびその家族、支援者などの浮く数の当事者が、毎日刻々と体験することの語り、語る／聴く、書く／読むことを通じて、最大限に尊重するところから支援を開始する。
3. 彼らが日々体験している「生きにくさ」を軽減し、彼らのもつ能力、個性が開花できるような環境へのアクセスを保証することを目指す。

保護者面談をおこない、特性の共通理解や生活面でのサポートなど7割以上の保護者とつながっていること。このほか、発達障害学生への合理的配慮の実例、有効な教育環境の整備、社会自立に向けての支援の流れなどについてもお話しくださしました。そして、見えにくい部分の配慮がなされていけば、見えやすい合理的配慮が必要ない学生はたくさんいると。まとめの中で、ひと（支援者）とつながる難しさ、相談継続のポイント、生きづらさどう向き合うか、についても触れられ、最後に、発達障害学生は、他者への期待感をなくし、社会とのつながり感が希薄なことが多い→大学は、発達障害学生が社会とつながる気持ちを回復できる最後の教育現場！
→他者や社会とつながる意味を実感できる機会（場）を提供したいと結ばれました。



分科会報告など
最後まで残れなかったのが
残念でしたが、時間をやりくりして行って
本当によかったなと思いました。



昨年11月16日の北陸中日新聞
朝刊一面に自殺に関する取材
記事が掲載されました！

【事務局のおもな動き】

★チャイルドラインは、月～土、全国で実施中★
0120-99-7777 (16時～21時)

≪いしかわは、金曜日と土曜日に受けています！≫

- 12月 3日(日) ころの健康づくり講演会
- 5日(火) 受け手継続研修
- 8日(金) 部会
- 9～10日 全国若者・ひきこもり共同実践交流会
- 10日(日) 年忘れ懇親会
- 16日(土) パパ子育て講座
- 21日(木) 打合せ
- 〃 金沢百万石ロータリクラブ年忘れ例会
- 23日(土) 委員会

12月29日～1月3日でお休み

- 1月 9日(火) 部会
- 10日(水) ホットサロン
- 11日(木) 部会
- 12日(金) 打合せ
- 13日(土) パパ子育て講座
- 14日(日) ガイドラインPT(東京)
- 〃 打合せ(富山)
- 16日(火) 打合せ(富山)
- 18日(木) 子ども政策審議会
- 20日(土) パパ子育て講座
- 27日(土) パパ子育て講座
- 31日(水) 部会
- 2月 3～4日 全国運営者会議(東京)
- 9日(金) 講座(東京)
- 17日(土) パパ子育て講座
- 21日(水) かけがえのない命を守るNW
- 22日(木) 部会
- 3月 3日(土) 荒牧氏講演会
- 11日(日) 北陸近畿エリア会議(京都)



「パパママ・ホットライン」

火(水)木(金) (10時から15時)
076-214-5666



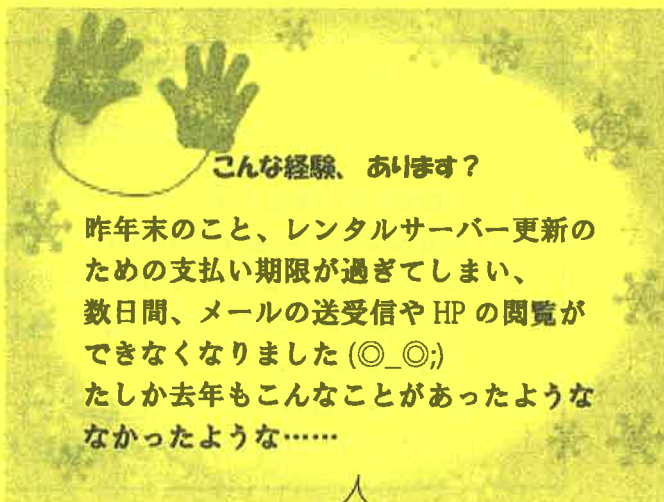
学習した時の賞味期限は、
思いのほか短かったです

(-_-)



こんな経験、ありますか？

昨年末のこと、レンタルサーバー更新の
ための支払い期限が過ぎてしまい、
数日間、メールの送受信やHPの閲覧が
できなくなりました(◎_◎;)
たしか去年もこんなことがあったような
なかったような……



～豊かな子どもの未来のために～

〈子ども夢フォーラム〉

NPO(民間非営利団体)

〒921-8101

石川県金沢市法島町11-8

いしかわ子ども交流センター2階

TEL/FAX 076-214-5680

URL <http://www.yumeforum.org>

E-mail kodomo@yumeforum.org

郵便振替口座 00700-5-46262



〈子ども夢フォーラム〉は、子ども専用電話【チャイルドライン・いしかわ】を実施しています。【チャイルドライン】は、子どもの話に耳を傾け、心に寄り添い、気持ちを受けとめる電話です。

子どもの声からの気づきすることも重要と捉え、



きを大人社会にフィードバック 大人の話を受けとめる「パパママ・ホットライン」や、「パパ子育て講座」などの活動を展開しています。

同時に他団体とのネットワークも大切にしています。子どもだけでなく、親も、自分に自信をもち、夢を抱きながら心豊かに21世紀を生きていくことにつながるよう、サポートしていきたいと思ひます。